

株主・投資家との関わり

理想科学は、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションの充実を図るとともに迅速・正確な情報開示に努めています。

解説1 「情報開示手続規程」

2007年10月1日制定

・経営関連情報（法令開示情報、個別開示情報）を適時・適切に開示するための体制と運営。

・情報開示委員会（2006年6月発足）が、情報開示にあたっての情報収集、経営層への具申案（開示要否判断、開示内容、開示時期など）作成にあたる事。

・情報の種類に応じて「EDINET」、「TDnet」などで開示する事。

・公平開示の原則、風説への対応などを規定しています。

株主の皆様とのコミュニケーション

当社は、株主の皆様が株主総会における議案を十分に審議いただくための時間を確保するために、株主総会実施日の3週間前に招集通知を発送することを心がけ、議決権行使の円滑化に努めています。また、より多くの株主の方にご出席いただけるよう、集中日を回避し適切な日を設定するとともに、交通の便がよい会場を設定しています。

また、株主の皆様には、事業の状況を分かりやすくまとめた報告書を年2回送付しています。



第53回定時株主総会

IR活動

当社は、適時・適切な、かつ積極的な情報開示は企業にとって重要な責務であると認識し、その実行に努めています。

2007年10月には、企業としての情報開示の方針をステークホルダーの皆様にも明確に示すため「情報開示方針」を制定しWebサイト上で開示しました。

また、この情報開示方針を確実に実行する体制を確立・維持するために「情報開示手続規程」^{解説1}を制定し2007年10月より運用しています。

決算短信や決算説明会資料、個人投資家の皆様向けの事業報告書など財務情報や株式情報は、Webサイト上で開示するとともに、毎年中間決算、本決算発表後にアナリスト・機関投資家向けに説明会を実施しています。説明会では代表者自身が説明を行っています。また、2008年4月1日付けで当社Webページをリニューアルし、利便性の向上と会社情報の充実をはかりました。

URL <http://www.riso.co.jp/>

配当政策

株主の皆様に対する利益還元については、「企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行う」という基本方針のもと、安定配当の継続に努めています。また、自己株式の取得も利益還元の一つと考えており、株価水準や市場の動向を考慮しながら実施しています。2007年度はこの考えに基づき、自己株式196千株を3億4千1百万円で市場から買受けました。

情報開示方針

1. 基本方針

当社は、金融商品取引法などの関連諸法令および上場証券取引所の開示規則に則った、公平・公正な情報開示を行います。さらにこれらの法令および規則に係わらず、株主や投資家の皆様に当社を理解いただくために有効と思われる情報については、適時適切かつ積極的に情報を開示する様に努めます。

2. 情報の開示方法

当社の情報は、その種類に応じて、金融庁が提供する「EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）」および東京証券取引所が提供する「TDnet（適時開示情報伝達システム）」を通じて公開いたします。また「TDnet」で情報公開する場合には東京証券取引所内記者クラブ（免倶楽部）を通じ、報道機関への公表を行った後、当社ホームページに速やかに掲載いたします。

3. 将来の見通しについて

当社が発行する書面、ホームページ掲載内容等には、業績予想、計画、戦略、目標などが含まれる場合があります。これらの情報のうち歴史的事実以外のものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化によってこれらと異なる結果になる可能性があります。

4. 沈黙期間について

当社では、決算関連情報がその発表前に漏洩することを防ぎ、公平性を確保する為に、決算期日（中間および四半期含む）の翌日から決算発表日までの期間を「沈黙期間」とし、この期間中は決算に関する質問への回答およびコメントを差し控えることとしています。

制定 平成19年10月1日